

人と地域が輝く教育を目指す

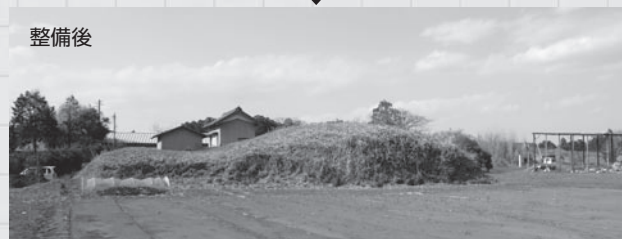
市では地域固有の歴史、史跡を大切に守り伝えていくための取り組みを行っています。この地域で社会に尽くした先人たちを調べたり、残された資料などに直接触れたりすることで、地域社会の一員としての自覚を持ち、郷土を誇りに思う気持ちを育むことができます。

●市内の文化財を見つけよう

市内に残る指定文化財は全部で130件。標示板の設置を進め、ときには調査を行い保存整備に当たっています。今年整備した鎭木にある法王塚(築6世紀後半)は、これまで竹やぶに覆われその姿を確認することができませんでしたが、現在は前方後円墳の形状をはっきりと確認することができます。文化財はこうして時代を超えて私たちにその姿を見せてくれます。



整備前



整備後

姿を現した法王塚

校長リレーエッセイ

12



地域の歴史を学ぶ

古城小学校長
立川 則夫

古城小学校の学区には「鎭木城跡」と「鎭木古墳群」という2種類の遺跡があります。鎭木城は中世の山城で、西暦1230年ごろから1590年ごろまで、鎭木氏の居城として存続していたとされています。また鎭木古墳群は、5世紀ごろから7世紀ごろに築造されたと考えられ、前方後円墳、円墳など大小さまざまなものがあります。

小学校学習指導要領解説社会科編では、指導計画作成

●郷土の先覚者・大原幽学

市内には博物館施設である大原幽学記念館もあります。混乱の時代にあった幕末に、この地域を指導した大原幽学の業績は、今も色あせることなく伝えられ、ゆかりの地は国指定史跡として住まいもほぼ当時のまま残っています。

耕地整理を行った田んぼは、毎年多くの参加者が田植えから収穫までを体験する交流事業の舞台として活用され、史跡公園内には、市内から移築された旧林家住宅というかやぶき屋根の民家があり、自由に見学できます。

●子どもたちの学習を支援しています

記念館では、幽学の遺品、著作のほか、この地域の歴史を紹介する展示も行っています。

市内の小中学校の郷土学習や体験学習にも多く利用されています。旭市の歴史や市内に残る史跡・文化財の重要性を理解してもらう良い機会と歓迎しています。

※くわしい内容は、生涯学習課文化振興班(☎55-5728)、大原幽学記念館(☎68-4933)まで問い合わせてください。

夏休み工作のヒントに！

●第73回全日本学生児童発明くふう展

期間／7月31日(金)まで

場所／県立現代産業科学館(市川市)

昨年度開催された全日本学生児童発明くふう展で選ばれた優秀作品34点が展示されています。その中には、奨励賞を受賞した新居瑠偉くん(嚶鳴小)の作品「ハッチちゃんのたこやき屋」も展示されています。

※くわしい内容は、千葉県立現代産業科学館(☎047-379-2005)まで問い合わせてください。

上の配慮事項として「地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにすること」と示されています。

そこで、昨年度は6年生の社会科で、鎭木俊一先生(前千潟中学校長)に外部講師を依頼し、地域の歴史について学習する機会を設けました。

子どもたちは、自分たちの住んでいる地域に歴史的に重要な遺跡があることを知るとともに、自分たちの住んでいる場所が歴史のある地域であるという鎭木先生の話に、熱心に耳を傾けていました。今後、古墳などがさらに整備されると、より効果的な学習をすることができると思います。

今年度も、鎭木城跡や古墳に関する学習を実践し、旭市学校教育指導の指針の重点目標の一つであります「地域とともに歩む学校づくり」における「地域の教育力・教育資源を活かした教育の推進」を図っていきたいと考えています。